



# ちゅうりっぷ組だより



2月号

ときわ保育園 平成29年2月20日

担当 団野

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。

先日は、保育参観にご出席いただき、ありがとうございました。その時一緒に作ったおもちゃは、お家でも活用されていると聞き、とても嬉しく思います。



さて、最近はお友達への関心が、増々高まり、狭い所に入るとは、笑い合ったり、歌声を上げながら、追いかけて遊ぶ姿もよく見られます。

ある日の朝、早い時間に登園した子が、保育者に寄り添うように遊んでいました。そこへ、同じちゅうりっぷ組のお友だちが登園してくると、満面笑顔。「〇〇ちゃん来たね。」と声を掛けると、「うんうん」と頷き、「うれしいね」と言うと、また「うんうん」と応え、そのお友だちの頭を撫でたり、顔を覗き込んだりしていました。「いつも一緒に遊ぶお友だち」という感覚が育ち、愛しさが生まれているようで、心の成長を感じました。



また、保育者の真似をするのも楽しくなってきました。布団を畳んで運んだり、「SIDSのブレスチェックのタイム」の音を誰よりも早く聞きとり、寝ている子の胸に手を当てる子もいます。その姿はとても可愛らしく、そして頼もしく感じます。



自己主張も強くなっていますが、それも成長の過程として、子ども達の思いを受け止め、保育していきたいと思えます。